

# やまがら

新年号  
2012年

松山市議会議員  
梶原ときよし

やまがら



毎年、冬には自宅に来てくれます。

## 命を大切にす松山市政の実現を!!

2012年、明けましておめでとうございます。  
今年一年、昨年の震災・津波・原発事故から脱却し、  
リバウンドする事を願いながら皆様のご健康とご多幸をお祈りしています。



発行・梶原ときよし事務所



私の方、松山市議会議員になって二度目の正月を迎えました。この一年半、議員として市民相談の事務所を構え、全ての定例議会に一般質問を行い、議会毎に報告会を開き、「やまがら」通信を出すなど、がむしゃらに市民目線を買ってまいりましたが、民間企業出身の私には驚きと憤りの連続でした。何せ市政の施行過程には問題が多く、市幹部職員には未だに税金使用のバブル体質が沁み込んでおり、その利権を市政執行部側に立つ者たちで囲い込もうとしている姿には怒りを覚えます。

そもそも議員と首長は、ともに直接選挙で選ばれ住民を代表する地方自治の制度が二元代表制であり、対等、独立の議員と首長が、時にけん制し合う緊張関係の下、本来議会は市長（市政執行部）を監視・評価する野党的役割が期待されるといわれています。しかしながら、市政与党議員が多数を占める松山市議会では、市政執行部の提案に対し、充分な議論もせず起立賛成するだけの与党議員が多い中、地方自治の二元代表制の趣旨が機能していないように思われます。

2012年の梶原は、松山市発注工事裏金疑惑等の不正を糾した上で、無駄を省き、本市の税金の使い方に細かいチェックを行い、その分を乳幼児保育や学校教育に重点配分をし、更には景気刺激策の充実を図れるように、いっその行政監視をしていきたいと思えます。また、大学を出ても4割もの若者が就職できない等の現実に対し、市長や市政執行部は傍観者であってはならず、仕事の保障に全力を挙げなければなりません。更に市民の健康増進を、予防事業に力を入れる事で効率の良い福祉の充実が図れるように、シルバーバス事業（電車バスフェリー）等の実現を含め、議員の側から積極的な政策提案をしていきます。そして全体的には、伊方原発を止めて安心して住める環境に戻すこと、自殺や交通事故死を減らしていくこと、更には地震や地震による津波対策等具体的な緊急課題も山積しており、危機感の無い政治は許されません。一人ひとりの命を大切にす松山市政の実現を図り、松山の元を取り戻すために頑張る決意です。リニューアルした2012年「やまがら」新年号お届けします。ご覧ください。



### 12月議会表決

#### 松山市市税賦課徴収条例の一部改正等

（市民にのみ増税をする内容に反対討論！）

梶原ときよし

議案109号松山市市税賦課徴収条例の一部改正について反対します。

この条例改正は東日本大震災の復興財源を盛り込んだ復興財源確保法が成立した事によるものですが、市民からは所得税を2%の定率増税を25年間行い、個人住民税は年額1,000円の均等割り増税を10年間増税するといったものです。

一方、逆に法人税は実効税率5%減税を行い、松山市の法人市民税を年額7億円も減少させる内容になっています。これでは、復興支援のための増税という名の基に行う法人税減税に他なりません。

仮に個人住民税増税は行われなくとも1億1,000万円は自動的に復興支援に貢献する事に成り、本市として増税の必然性は見当たりません。

所得税の定率増税と住民税の定額増税は、国民の所得再分配の基本ともいえる累進課税制度の根幹をも揺るがせる事にもなり、今回の市税賦課徴収条例改正に、賛成する事は出来ません。格差社会からの脱却を目指す議員の皆さんの市民目線に期待をして、私の反対討論を終わります。

以上

# 伊方原発「運転差し止め」を提訴!

12月8日、原告は300人、弁護団は147人



私(梶原時義)も原告の一員として参加しています!

県名	原告数
愛媛	176
高知	59
大分	20
徳島	11
香川	8
広島	5
山口	5
兵庫	3
千葉	2
神奈川	2
長野	2
東京	2
福島	2
島根	1
群馬	1
鹿児島	1
	300

12月8日、300名の原告と147名の弁護団による「伊方原発運転差し止め」の提訴を行いました。「伊方原発をとめる会」は、11月3日の発足総会で、会の重要な活動の一つに、伊方原発の運転差し止めを求める裁判支援を位置づけました。発足から二ヶ月ほどの期間でしたが、四国電力を相手とする裁判の原告募集支援に全力をあげました。当初は100名前後と思われた原告は、次々と広がりを見せ、ついに300人に達しました。住民の強い思いの現れであり、声をかけ集めて頂いたたくさんの方々の努力の結果です。12月8日正午過ぎから、松山地裁口ビエには、各地から原告、支援者ら約100人が次々と訪れました。午後1時には、原告と弁護士を戦場に横断幕を掲げた行進が行われました。あいにくの雨の中、短時間でしたが地裁前まで歩き、その足で提訴に向かいました。

## 「伊方原発をとめる会」とは

2011年6月から協議を開始し準備会を立ちあげた。7月には、12名の準備会有志代表で3号機の再稼働をさせないよう知事宛の要請をおこなった。10月には、元原子炉設計者田中三彦さんを講師に学習会を開催し280名が参加した。11月3日に発足総会を開催してスタートした。訴訟支援のほか、学習会や要請活動なども主要な活動方針としている。

## 第2次原告を募集します! 3月21日まで

わずか1ヶ月で今回の原告募集を行なったこともあり、追加できないかとの声を多くいただいています。同内容で第2次訴訟をおせば、裁判上は「併合」され原告団は増えることになります。3月21日までを募集期間に、第2次訴訟に取り組むことにしました。詳細は、「伊方原発をとめる会」のホームページに掲載しています。

## 「伊方原発をとめる会」の会員になってください。

※詳しくは梶原事務所までご連絡ください。

## 「佐高信 現代を叱る」松山講演

4月21日(土)PM1:30~ 松山大学カルフル・ホール  
講演会:「佐高信 現代を叱る」  
と き:2012年4月21日(土)PM1:30~4:00  
と ころ:松山大学カルフル・ホール(500人収容)松山市文京町4の2  
入 場 料:開催に先立って、一般入場者には整理券(資料代含め1000円)



## 梶原ときよしの活動予定や市議会のスケジュールはHPでご確認いただけます。

ホームページ **梶原ときよし** 検索

<http://tokiyoshi.sakura.ne.jp>

「スケジュール」に行動予定と感想を入れていますのでクリックしてください。

## 梶原ときよし事務所

〒790-0813 松山市萱町2丁目1-2  
TEL 089-947-2258 FAX 089-947-2259  
携帯 080-5669-8586

自宅/松山市湯の山4丁目1-5  
TEL/FAX/977-8586

E-mail [sizenha-812@lib.e-catv.ne.jp](mailto:sizenha-812@lib.e-catv.ne.jp)

- 午後1時~午後5時まで(当面)
- 土・日・祝日はお休みです。



あります。

お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

